

## プレゼン補足資料

---

1. 関連ウェブサイトリンク
  2. ドイツ語学校について
  3. 各ドイツ語試験の特徴
  4. フルダ大学プレスタディプログラムについて
  5. 期末試験・レポート（体験談）
  6. インターンシップの探し方
  7. 費用
  8. 病院関連
  9. 気候
  10. 治安
- 

### 1. 関連ウェブサイトリンク

#### a. 大学関連

- フルダ専科大学ホームページ  
<https://www.hs-fulda.de/>
- フルダ専科大学 Youtube  
<https://youtu.be/KaFARShfaQ>
- M.A. Intercultural Communication and European Studies  
<https://www.hs-fulda.de/sozial-kulturwissenschaften/studium/studiengaenge/intercultural-communication-and-european-studies-ma>
- フルダ専科大学プレスタディプログラム  
<https://www.hs-fulda.de/en/international/international-office/fulda-pre-study/apply-to-pre-study-fulda>

## b. ドイツ語学習関連

- **Deutsch perfekt** (ドイツ語学習者向け雑誌) ★英語バージョン有り ("Spot light")  
ドイツ文化、社会、歴史、時事ネタ等、ドイツ社会をより良く知れるトピックが満載。また病院や仕事探しでよく使うドイツ語等、外国人の社会統合サポートという観点からの記事も。写真も多く、楽しみながらリーディングの練習が可能。デジタル版有り。

<https://www.deutsch-perfekt.com/>

- **Zeit Campus** (大学生向け雑誌)  
ドイツ語母語話者向けの雑誌なのでドイツ語上級者向けだが、学校生活面やインターンシップ・キャリア等、大学生にとって興味深いトピックが満載。デジタル版有り。

<https://shop.zeit.de/sortiment/die-zeit-magazine/studium-und-orientierung/>

- **Zeit Campus online**

<https://www.zeit.de/campus/index>

- **Deutsch lernen DW** (ドイツ語学習用ウェブサイト)

<https://www.dw.com/de/deutsch-lernen/s-2055>

- **Arbeitsbücher von Schubert-Verlag** (自習用テキスト)

<https://www.schubert-verlag.de/spektrum.b1.php>

- **Tagesschau** (ドイツのニュース)

<https://www.tagesschau.de/>

- **Zeit Online** (オンライン版の新聞)

<https://www.zeit.de/index>

★その他ドイツ語学習向けのポッドキャスト等も多数あります。自分に合う学習方法を見つけてみて下さい！



## 2. ドイツ語学校について

### a. Volkshochschule とは？

- 市などの自治体が運営、成人向け学習の機会を提供している学校。各種語学コース、クッキング、スポーツ、パソコン講座、法・政治、文化等開講クラスは学校によって異なり、多岐に渡る。
- 移民・難民向けのドイツ語コースを開講している学校は多い。B1 レベルまでは集中コース（月～金、各3時間ほど）を開講している学校が多いように思う。市から補助金が出ているため、民間語学学校と比較するとリーズナブルな学費設定。

### b. 民間語学学校失敗談

フランクフルトにある、4週間で1レベルを修了できることを売りにしている学校に行ったが、正直1レベルを4週間でマスターするには無理があった。そのような売り文句に流されずに、きちんと1レベル2～3カ月ほどかけて勉強することをお勧めします！

## 3. 各ドイツ語試験の特徴

- Telc...** 主に Volkshochschule でのドイツ語学習者が受験する試験（というイメージ？）。合格証明書はドイツ国外でも使える。全4パートの試験分野。（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）
- Goethe Zertifikat...** ドイツの文化機関であるゲーティンスティチュートによるドイツ語試験。正式なドイツ語試験として、合格証明書は国際的に認知される。全4パートの試験分野。（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）
- DSH...** 英語で言う TOEFL や IELTS のような、大学進学希望者向けのアカデミックドイツ語試験。レベルは DSH1～3 まであり、正答率によって異なる結果が出る。全4パートの試験分野。（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）全試験時間は約4時間。試験は結構難しいですが、コツコツ勉強することが出来れば誰でも合格可能だと思います！

DSH1... B2 相当 （正答率 57～66%）

DSH2... C1 相当 （正答率 67～81%）

DSH3... C2 相当 （正答率 82%～100%）

- 一般的に、ドイツの大学入学には DSH2 が要求される場合が多い。しかし医学部、法学部など一部の学部入学には DSH3 が必要。
- DSH は各大学が問題を作成しているため、大学によって難易度や出題スタイルに多少の差があると言われている。しかし合格証明書はほぼ全てのドイツの大学出願に使える。

- 私が経験したフルダ大学プレスタディの一環である C1・DSH 対策ドイツ語コースは、すでにコロナ禍であったためほぼ全てオンラインで実施された。主に先生がデジタル化したプリントや文法の一覧を画面にシェアすることで授業が行われたが、デジタル教材のみならず、テキストも使用した。（主に DSH 練習問題及び模試）先生からのデジタル版教材は、重要なものは印刷し、紙媒体にしてファイルすることですぐに確認出来るようにしていた。
- DSH 試験は、フルダ大学にて受験。スピーキングを除き対面で行われた。（2020 年 8 月受験時）

#### 4. フルダ大学プレスタディプログラムについて

- 初級コース、B1 コース、B2 コース、C1/DSH コース、ドイツ語クラスなしのコースの全 5 コースが開講されている。

★ポイント★ プレスタディプログラム参加を通して、ドイツ語初級レベル（A1・A2）から大学進学を目指せる。

- カリキュラム内容（通常時）
  - 1) 集中ドイツ語クラス（週 20～25 時間）
  - 2) 大学本科の授業（3 科目ほど）
  - 3) アカデミック・ライティングのクラス（週 2 時間）
  - 4) 異文化トレーニング・生活サポートのクラス（週 2 時間）

#### 5. 期末試験・レポート（体験談）

ICEUS の 1 学期目は、試験 1 回（コミュニケーション系 2 科目合同筆記試験）に加えレポート 2 本（各 15 ページ程）の提出が必要でした。レポートは 4 科目の中から 2 科目選択し、それぞれの教授が課す条件を満たすようレポートを書く必要がありました。（授業内容に関連するトピックでなければならない等）

#### 6. インターンシップの探し方

- 興味のある企業や機関がインターン生の受け入れを行っているか、ホームページでチェック。
- ホームページに特に情報がない場合でも、直接メールで問い合わせる。
- 私は個人的に、大学側が公開してくれた今までの学生のインターン先一覧からアイデアをもらい、自分の興味のある企業・機関を探しました。
- 同級生からインスピレーションをもらう。

## 7. 費用

### a. 学費関連（あくまで個人の体験）

- **Volkshochschule**

集中ドイツ語コース (A2-B1) 1 レベル (10 週間) につき約 500 ユーロ (約 65,000 円)  
(教材費別途必要)

- **民間語学学校**

集中ドイツ語コース (4 週間) 550 ユーロ (約 70,000 円)

- **フルダ大学プレスタディプログラム**

C1・DSH 対策コース (1 学期間) 970 ユーロ (約 126,000 円) (DSH 受験料、州内交通費込)

- **フルダ大学修士課程**

約 300 ユーロ/学期 (約 39,000 円)

### b. ドイツ語試験受験料 (参考)

- Telc 試験…約 180 ユーロ (約 23,000 円)
- Goethe 試験…約 250 ユーロ (約 32,000 円)
- DSH 試験…70~150 ユーロ (約 9,000-19,000 円)

### ➤ セメスターチケットについて (ヘッセン州の場合)

学生証にヘッセン州内ほぼ全域の公共交通機関 (特急列車除く) で利用可能なチケットが付帯。学生証携帯で電車・バス・路面電車などに無料で乗車可。

### c. 生活関連

- 家賃

フルダだと 1 ヶ月約 200~400 ユーロで部屋がある。フルダ大学寮は 250~380 ユーロ。

- 生活費全般・物価

大体日本と同じか少し安いくらい。特に日用品、生鮮食品は日本より若干安く感じる。ちなみにドイツにおける付加価値税 (日本の消費税に相当) 率は 19% (食品等一部 7%) 。

- 健康保険 (一例)

約 110 ユーロ/月 (学生料金)

私は現地人向けの健康保険 die Technicker に加入している。

## 8. 病院関連

- 内科受診等日常的な医療費は保険が全額カバー。（die Techniker の場合）
- 薬代は別途必要。
- 診察には必ず予約が必要。急を要しない場合は診察日が数カ月後になる場合も。
- 電話やメールで予約可。オンライン予約が可能なクリニックもある。
- コロナ対策なのか（？）相談等の場合は直接病院に出向くことなく、電話で診察対応してくれる病院も。
- 保険によって歯科治療等保険適応外の分野もあるため要確認。
- 歯科治療用の任意追加保険あり。（例：保険代月 10 ユーロ上乗せで年間 500 ユーロを上限に保険適応外の歯科治療費がカバーされる）
- フランクフルト市内に日本語通訳付きの病院あり。

## 9. 気候

- 冬期（10月～3月頃）  
概して悪天候が多く、晴れる日があまりない。最低気温は約-7度（ヘッセン州東部、2020年度冬）。日没は最も早い時期（12月）で午後5時前頃。
- 夏期（4月～9月）  
天気の良い日が多い。年によっては40度近くまで気温が上がる（7・8月）。日本と違い夏期も乾燥している。また、夏期はサマータイムが導入されることもあり、午後10時頃まで明るい。

## 10. 治安

私の個人的な印象であり、かつ地域や都市によって大きく異なると思いますが、日本と大体同じ感覚で生活出来ると思います。（例えば、リュックに南京錠を付けると言った嚴重な注意は必要ない印象）しかし、フランクフルトでスリに遭った友人もいたため、もちろん油断は禁物。テロのリスクは日本での生活にない不安要素。